

作成日：2000年08月30日

改訂日：2016年06月13日

## 安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名：添加液

パーツNo.：E363505-A(1L入り)

会社名：平沼産業株式会社

住所：〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739

担当部門：設計部

電話番号：(029)247-6411

FAX番号：(029)247-6942

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

：区分1

環境有害性

水生環境有害性(急性)

：区分2

絵表示またはシンボル



注意喚起語

：危険

危険有害性情報

：重篤な眼の損傷

水性生物に毒性

注意書き

安全対策

：環境への放出を避ける。  
適切な保護眼鏡、保護面などを着用する。

救急処置

：直ちに医師に連絡する。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを  
着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

保管

：容器は密閉して高温・直射日光を避けた涼しい場所に保管  
する。施錠して保管。

廃棄

：内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

### 3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別

一般名 : 混合物（水溶液）  
成分および含有量 : 界面活性剤（ポリオキシエチレンアルキルエーテル）、水  
: ポリオキシエチレンアルキルエーテルの約10%水溶液

---

#### 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、うがいをし、安静・保温に努める。異常を感じる場合は医師の処置を受ける。

皮膚（または髪）に付着した場合

: 直ちに多量の水で十分に洗い流す。異常を感じる場合は医師の処置を受ける。少しでも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れると障害を増大させる恐れがある。

眼に入った場合 : こすらずに直ちに流水で15分以上洗眼（眼球とまぶたの隅々までよく洗う）し、医師の処置を受ける。コンタクトレンズを使用の場合、可能であれば取り外し洗浄を続ける。

飲み込んだ場合 : 口の中を水で洗い、水または水または牛乳を飲む。無理に吐かせない。医師の処置を受ける。

---

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 本品は不燃性である。容器周辺の火災の場合、容器を安全な場所に移す。移動できない時は容器、及び周囲に散水して冷却する。水、粉末、二酸化炭素などを用いる消火剤は使用できる。

特定の消化方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。

消化作業を行う者の保護

: 消火作業従事者は適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

---

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

: 適切な保護具を着用する。関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 : 流出せれた製品が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 漏洩した液は出来るだけ回収し、残りはウエス、ぼろ布等に吸収させて焼却する。回収できない液は、多量の水で十分に希釈して洗い流す。多量の場合は土砂等で吸着させて水で徐々に希釈して、中和処理する。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の装置

## 取り扱い

- 技術的対策 : 必要な個人用保護具を使用する。  
注意事項 : 眼に入らないようにする。転倒させ、落下させ、衝撃を加え  
または引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。

## 保管

- 適切な保管条件 : 容器は密栓して高温・直射日光を避けた涼しい場所に保管  
する。  
避けるべき保管条件 : 日光、熱

## 8. 暴露防止措置

## 管理目標

## ばく露防止

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、手洗、洗眼、身体洗浄のための設備を  
設け、その位置を明瞭に表示する。

## 保護具

- 手の保護具 : ゴム手袋等の適切な保護具を着用する。  
眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。  
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて、保護マスク、保護長靴、保護服、ゴム前掛

## 9. 物理・化学的性質

- 外観 : 無色透明液体  
pH : 6~10  
比重 : 1.00 (代表値)  
溶解性 : 水、湯に相溶する。  
臭気 : ほとんどなし  
沸点、初留点及び沸点範囲 : データなし  
引火点 : 不燃性  
燃焼または爆発範囲の上限、下限 : 不燃性  
蒸気圧 : データなし  
自然発火温度 : 不燃性

## 10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の保管条件／取扱い条件では安定である。  
危険有害反応性の可能性 : 強酸化剤と反応する。  
避けるべき条件 : 日光、熱

## 11. 有害性情報

## 毒性学的特性に関する情報

急性毒性 : 有用な情報なし

## 局所効果

皮膚腐食性・刺激性 : 有用な情報なし

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: ポリオキシエチレンアルキルエーテル 区分1

皮膚感作性 : 有用な情報なし

発がん性 : 有用な情報なし

生殖毒性 : 有用な情報なし

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

水性毒性 : 水生生物に毒性

残留性と分解性 : 有用な情報なし

生物蓄積性 : 有用な情報なし

その他情報 : 有用な情報なし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄する。使用液（希釈液等）の排出の際は、大量の水と共に廃棄する。大量の場合は廃棄物処理業者に廃棄依頼する。環境への放出を避けること。

## 14. 輸送上の注意

## 輸送の特定の安全対策及び条件

運搬する場合には、飛散、漏れ、流出、またはしみでることを防ぐのに必要な処置を講じなければならない。

（毒物及び劇物取締法第11条）

容器は丁寧に扱い、横倒し厳禁で30kg以上の重みを乗せない。破裂して飛散するので、容器に圧力をかけない。輸送に関しては直射日光を避け、容器の漏れがないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

## 国際規制

国連番号／国連分類 : 該当せず

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質管理促進法 : 第一種指定化学物質（ポリオキシエチレンアルキルエーテル10%）

毒物及び劇毒物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当  
船舶安全法 : 非該当  
航空法 : 非該当

---

16. その他の情報

引用文献

- 1) 化学物質評価研究機構のHP
- 2) JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

\* 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成されていますが、必ずしもすべての情報を網羅するものではありませんので、取扱いには充分注意してください。また、記載内容は情報提供を目的としたものであり、いかなる保証をなすものではありません。

以上